

普及項目	資源管理
漁業種類等	採貝漁業
対象魚類	アサリ
対象海域	熊本有明海

有明地区におけるアサリ生息状況調査

県北広域本部水産課・宮崎 孝弘

【背景・目的・目標（指標）】

県内のアサリの主要産地である熊本県有明海沿岸の漁場（荒尾～網田）では、漁獲量が非常に低位で推移しており、大きな問題となっている。そこで、漁業者が行うアサリ資源管理及び増殖に係る取組みを支援することを目的として、本調査により管内のアサリ生息状況及び生産量を正確に把握し、関係者へ情報提供を行った。なお、本課では荒尾市から玉名市に係る県北地域を主に指導した。

【普及の内容・特徴】

1 アサリ生息状況調査

調査は、各地区の主要漁場においてそれぞれ数か所定点を設定し、現地の漁業協同組合、関係市町及び熊本県漁業協同組合連合会とともに7月（春期）と10月（秋期）の年2回実施した。また、各定点では25cm×25cmの方形枠を用いて干潟の表層底泥を2回採取し、4種の縦線篩を用いて1㎡当たりのサイズ別個体密度*を算出した。

*5分貝（殻幅15mm）、4分貝（同12mm）、3分貝（同9mm）、2分貝（同6mm）

2 生産量調査

アサリ生産量について毎月1回各漁業協同組合から聞き取り、昨年度の実績と比較し、関係者に発信した。

【成果・活用】

1 アサリ生息状況調査

令和6年（2024年）秋期における2分貝以上の1㎡当たりの生息個体数は表1のとおりである。最も生息個体数が高かったのは横島西の707個/㎡であり、これは平成27年（2015年）以来の高い数値となった。全体的に見ると鍋、大浜Ⅰ・Ⅱ及び横島西・東では前年度を大きく上回り、過去3年間と比べても高い生息個体数となった。調査結果については各漁協と共有し、被覆網の設置等の保護対策について指導した。

2 生産量調査

令和6年（2024年）（暦年、12月末現在）における熊本県有明海のアサリ生産量は、表2のとおり90.1トンで、前年を若干上回った（R5：89.2トン）。地域別に見ると、荒尾～熊本北部長洲地域（0トン、前年比-％）、菊池川河口域（696トン、前年比8.3％）、白川河口域（0トン、前年比-％）は前年を下回ったが、緑川河口域（89.4トン、前年比126.1％）は前年を上回った。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

表 1 荒尾・玉名管内アサリ生息状況調査結果比較（秋期調査）

（2分貝以上の生息個体数/㎡）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
荒尾北部	140	392	627	86	86	5	8	2	81	5
荒尾中部	84	652	319	258	258	35	20	0	264	47
荒尾南部	10	166	173	83	83	23	1	8	6	0
牛水	19	141	201	100	100	33	4	88	195	143
長洲	835	1,409	333	178	178	11	4	28	281	2
鍋	910	414	95	21	21	43	53	96	175	475
高道	973	359	254	26	26	39	48	37	838	117
大浜Ⅰ	2,020	655	66	52	52	3	5	461	137	438
大浜Ⅱ	1,246	367	44	88	88	0	32	0	57	291
大浜Ⅲ	117	96	169	－	－	－	－	－	－	－
横島西	591	225	140	12	12	44	240	1	50	707
横島東	33	126	120	149	149	198	333	169	63	577

表 2 県北広域本部水産課管内の地域別アサリ生産量

地域名	漁協名	R5 漁獲量(kg)	R6 漁獲量(kg)	前年比 (R6/R5,%)
荒尾～熊本北部 長洲地域	荒尾	1,009	0	－
	熊本北部牛水	288	0	－
	熊本北部長洲	0	0	－
菊池川河口域	岱明鍋	0	0	－
	岱明高道	0	0	－
	滑石	8,338	696	8.3
	大浜	0	0	－
	横島	0	0	－
白川河口域	河内	240	0	－
	松尾	0	0	－
	小島	8,461	0	－
	沖新	0	0	－
緑川河口域	畠口	0	0	－
	海路口	5,062	9,342	184.6
	川口	25,380	56,231	221.6
	住吉	10,889	13,972	128.3
	網田	29,581	9,886	33.4
荒尾～熊本北部長洲地域		1,297	0	－
菊池川河口域		8,338	696	8.3
白川河口域		8,701	0	－
緑川河口域		70,912	89,431	126.1
熊本有明 合計		89,247	90,127	101.0